

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月12日

青森県知事

三村 申吾 殿

提出者

住 所 青森県十和田市相坂字下前川原25-1

氏 名 太子食品工業株式会社

工場長 川崎 隆

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0176-22-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太子食品工業株式会社 十和田工場
事業場の所在地	青森県十和田市相坂字下前川原25-1
事業の種類	食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	現状値	項目	目標値
排出量	1166 t	全処理委託量	1100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	廃油 自社燃料化 513t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	- 1100t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動植物性残さ(生ゴミ))

項目	実績値
①排出量	853t
②+④⑤自ら再生利用を行なった量	—
⑤自ら熱回収を行なった量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑤⑥自ら埋め立て処分又は海洋処分を行なった量	—
⑩全処理委託量	853t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	853t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量 *	—

有償物量	排出量
不要物等発生量	① 853t

② 自ら直接再生利用した量	—
③ 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量	—
④ 自ら中間処理した量	—
⑤ ④のうち熱回収を行なった量	—
⑥ ④のうち中間処理した後の残量	—
⑦ ⑥のうち中間処理により減量した量	—

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	—
⑨ ⑧のうち中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	—
⑩ ⑧のうち直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	853t
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	853t
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	—

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

有 償 物 量		排 出 量	
不要物等発生量		① 154t	
② 自ら直接再利した量		③ 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量	
④ 自ら中間処理した量		⑤ ④のうち熱回収を行った量	
⑥ 自ら中間処理した後の廃さ量		⑦ 自ら中間処理により減量した量	
⑧ ③+④+⑤+⑥+⑦		⑨ ⑧のうち埋め立て処分又は海洋処分を行った量	
⑩ 全処理委託量		⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量		⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑭ 熱回収認定業者以外の処理委託量		⑮ 熱回収を行なう業者への処理委託量 *	
実績値		154t	
①排出量		154t	
②+③+④+⑤+⑥+⑦		—	
⑧		—	
⑨		—	
⑩		154t	
⑪		—	
⑫		154t	
⑬		—	
⑭		—	
⑮		—	

③ 自ら中間処理した後の再生利用した量	—
⑨ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	—
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	154t
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	—

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	154t
⑬ ⑩のうち熱回収認定処理委託量	—
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	—

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

有 償 物 量	
不要物等発生量	
排出量	513t
①	513t
実 績 値	
①焼出量	513t
②+③④自ら再生利用を行なった量	513t
⑤自ら熱回収を行なった量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑤⑦自ら埋め立て処分又は海洋処分を行なった量	—
⑩全処理委託量	—
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	—
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なった業者への処理委託量 *	—

②	自ら直接再利用率 513t
③	自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量 —
④	自ら中間処理した量 —
⑤	④のうち熱回収を行なった量 —
⑥	自ら中間処理した後の残量 —
⑦	自ら中間処理により減量した量 —
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量 —
⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 —
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 —
⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 —

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 —
⑬	⑩のうち熱回収認定処理委託量 —
⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なった業者への処理委託量 —

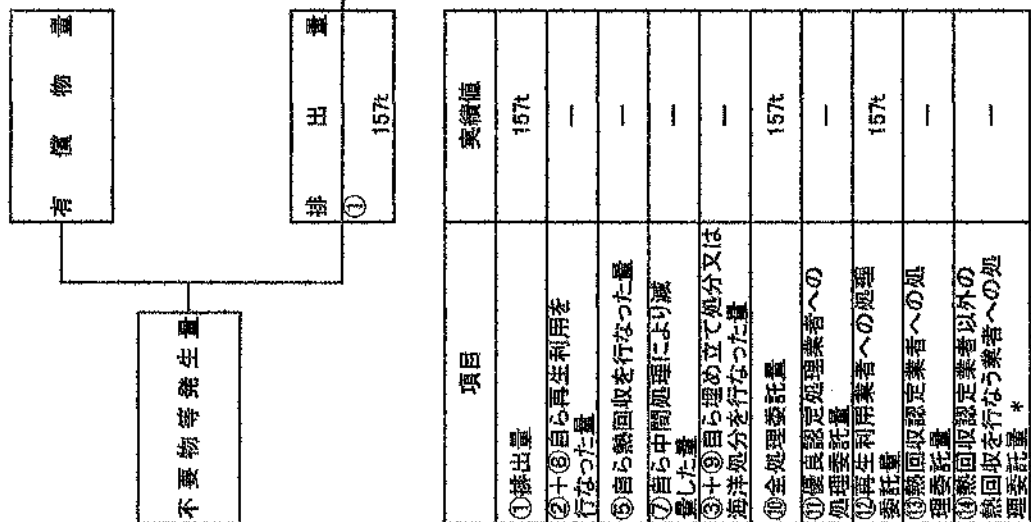
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

有 償 物 量	
不要物等発生量	
排出量	実績値
① 0.8t	① 排出量 0.8t
	② + ④ 自ら再生利用を行なった量
	⑤ 自ら熱回収を行なった量
	⑦ 自ら中間処理により減量した量
	③ + ④ 自ら埋め立て処分又は海洋処分を行なった量
	⑩ 全処理委託量 0.8t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量
	⑫ 再生利用業者への処理委託量
	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量
	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量 *

② 自ら直接再利用率	③ 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ 自ら中間処理した後の残量	⑥ 自ら中間処理した後の減量した量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
—	—	—	—	—	—	—
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	⑮ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
—	0.8t	—	0.8t	—	—	0.8t

計画の実施状況



<p>⑩のうち再生利用業者への処理委託量</p> <p>157t</p>	<p>⑫</p>
<p>⑩のうち熱回収認定処理委託量</p> <p>—</p>	<p>⑬</p>
<p>⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量</p> <p>—</p>	<p>⑭</p>
<p>⑤</p> <p>自ら中間処理した後自ら焼立処分又は海洋投入処分した量</p> <p>—</p>	<p>⑥</p>
<p>⑦</p> <p>直接及び自ら中間処理した後の処理委託量</p> <p>157t</p>	<p>⑧</p>
<p>⑨のうち優良認定処理業者への処理委託量</p> <p>—</p>	<p>⑪</p>

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

項目	実績値
①排出量	0.08t
②+④自ら再生利用を行なった量	—
⑤自ら熱回収を行なった量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑥自ら埋め立て処分又は海洋処分を行なった量	—
⑩全処理委託量	0.08t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	0.08t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量*	—

有償物量

不要物等発生量

②自ら直接再利用した量

排出量
① 0.08t

③自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残存量

⑤④のうち熱回収を行なった量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫のうち再生利用業者への処理委託量

⑬のうち熱回収認定処理委託量

⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。